

- ・がん予防の推進
- ・がん研究の推進
- ・医療サービスの改善

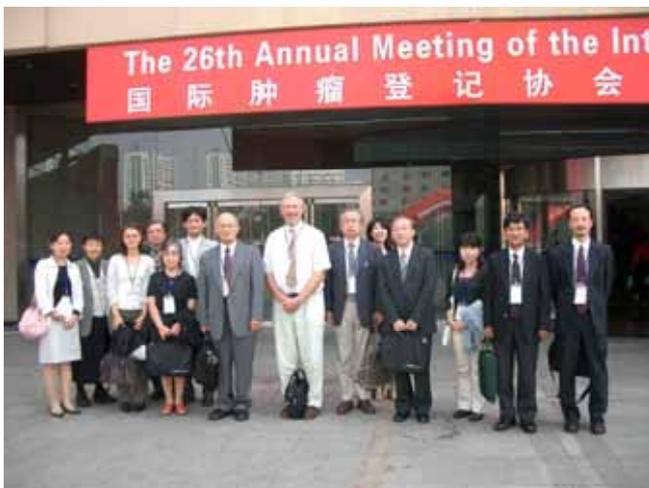
第3次対がん10ヵ年戦略におけるがん登録研究班の主たるねらいは、罹患データの精度向上、迅速性、生存率を求める事にある。

イラン (Dr Babaei)

アルダビルの地域がん登録に関する説明があった。病理診断に基づく登録として1999年に始まり、2002年、人口120万人、17,953平方キロをカバーする地域がん登録となった。人口の70%が40歳以下で、罹患数の増加が予測されている。

13の病院があるが、そのうち6つは紹介病院である。また、都市と郡部にいくつかの保健所もある。72.75%の症例は組織診断を受けている。

* IACRのSharon L. Whelan (Executive Secretary)がまとめられたものを、ご本人の許可を得て、翻訳させてもらった。なお、このSatellite Meetingの発表において使用されたスライドは、下記の地域がん登録全国協議会のホームページからダウンロードすることができる。(<http://home.att.ne.jp/grape/jacr/>)



がん登録のためさらに一層のご活躍を

- 平成16年度実務担当功労者表彰の報告 -

本協議会では、平成13年度に、地域がん登録の実務担当功労者表彰制度を創設し、各都道府県市の地域がん登録事業で、多年にわたり、事業の推進に篤志的に努力された実務担当の方を、協議会が表彰し、感謝状をお贈りしております。

平成16年9月に仙台で開催されました第13回総会で、第4回表彰式が行われました。次の各府県の4人の方々に対し、大島理事長から、感謝状と記念品が贈呈されました。受賞者の皆様のご活躍を期待します。(敬称略)

宮城 佐々木真理子 栃木 大越 政子
佐賀 前田 綾子 長崎 吉田 匡良

< 編集後記 >

Newsletter16号をお届けします。巻頭に対がん10ヵ年祖父江班による全国罹患率推計の支援地域決定の記事をいただきました。また倫理法制面の検討を進める丸山班でも本年3月6日には活動の節目となる公開報告会を予定しています。お隣の韓国ではがん対策法に基づいた地域がん登録が全国レベルで立ち上がるようとしています。今後数年、日本の地域がん登録もこれまでの蓄積の真価が問われる局面に差しかかるものと思います。連携してがんばりましょう。

(HM)

今回のニュースレターを読まれた方は、がん登録の領域で日本が後進国であることに驚かれたと思います。日本でもがん登録データが対がん政策に結びつく日が来る事を信じ、これからも頑張りましょう。

(MS)

2005年 関連学会一覧

7月14-15日	日本がん疫学研究会(第28回)	岐阜市 ぱるるプラザ岐阜
9月2-3日	地域がん登録全国協議会総会研究会(第14回)	東京都 国立がんセンター
9月13-15日	国際がん登録学会(IACR)(第27回)	Entebbe, Uganda
9月14-16日	日本癌学会(第64回)	札幌市 ロイトン札幌 他4会場
9月14-16日	日本公衆衛生学会(第64回)	札幌市 札幌コンベンションセンター

発行 地域がん登録全国協議会 Japanese Association of Cancer Registries 理事長 大島 明
事務局 〒537-8511 大阪市東成区中道1-3-3 大阪府立成人病センター内
TEL: 06-6972-1181 (2314), 06-6977-2030 (直) FAX: 06-6977-2030 (直), 06-6978-2821
URL: <http://home.att.ne.jp/grape/jacr/>